

リストNo	03-071	施設コード	01516			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	瑞穂会館					
所在(町名・番地)	中区高丘西二丁目34-1					
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一			
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治			
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律					
条例	浜松市学習等供用施設条例					
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。					
主な利用者	地域住民					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	9:00 ～ 21:00					
建物情報	総延床面積	587.34	土地面積	920.95		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	920.95
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.01				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1981/3/1				
	経過年数(主要建物)	42			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	第一種住居地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



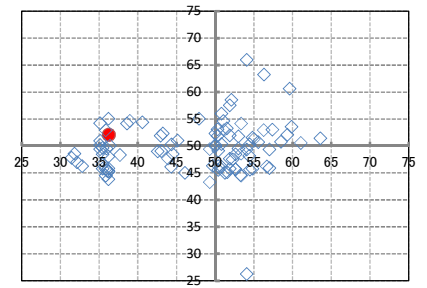
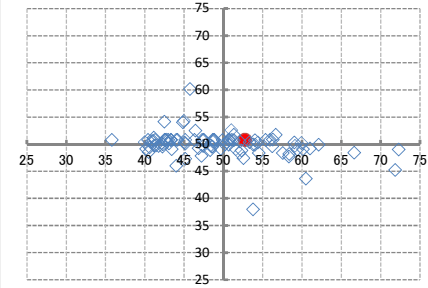
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,814	2,814	2,814
利用状況	利用コマ数/年	1,130	971	939
	利用可能コマ数/年	3,660	3,648	3,660
	施設利用者数/年	16,935	16,140	15,550
	開館日数/年	305	304	305
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	61,069	9,720	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.5
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	1.1
03-068	葵西会館	コミュニティ	1.4
03-027	北部協働センター	生活	1.8
03-098	三方原会館	コミュニティ	1.8
01-029	高丘葵市民サービスセンター	生活	0.1
13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.5
13-004	高丘団地	地域	0.6
07-017	みずほ放課後児童会	生活	0.6
15-019	瑞穂小学校	生活	0.6
15-102	開成中学校	生活	0.6
05-008	北部水泳場	地域	0.8
15-012	葵西小学校	生活	1.2



基本情報	リストNo	03-071	施設コード	01516	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	瑞穂会館		施設	中区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
民活導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	30.9	26.6	25.7	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	56	53	51	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-072	施設コード	02220	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	馬生会館			
所在(町名・番地)	中区和合町88-4			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:00			
建物情報	総延床面積	557.25	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.42		
	耐震工数(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1979/3/1		
経過年数(主要建物)	44	代表地目(現況地目)		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
物件費(委託料)		0	0	0
維持補修費(修繕費)		0	0	0
物件費(光熱水費)		0	0	0
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,224	3,224	3,224
利用状況	利用コマ数/年	854	685	532
	利用可能コマ数/年	4,380	4,368	4,380
	施設利用者数/年	11,099	8,090	4,937
	開館日数/年	365	364	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,690	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-024	高台協働センター	生活	0.4
03-074	和合会館	コミュニティ	0.5
03-021	和地山公園集会所	生活	0.7
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.2
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.3
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.3
03-078	城北会館	コミュニティ	1.3
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	1.4
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.5
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.5
06-002	城北図書館	市域	0.6
13-016	和合(C1)団地	地域	0.7
08-003	権現谷保育園	生活	0.7
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.7
15-020	泉小学校	生活	0.7
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.8



基本情報	リストNo	03-072	施設コード	02220	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	馬生会館			施設	中区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
民活導入	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	19.5	15.7	12.1	1閉館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	30	22	14	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-073	施設コード	02433	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	富塚西会館			
所在(町名・番地)	中区富塚町2114-24			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～21:00			
建物情報	総延床面積	511.43	土地面積 1,094.34	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		土地情報 うち所有面積 1,094.34 うち借地面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1999/3/1		
経過年数(主要建物)	24	代表地目(現況地目) 公園		
用途地域	第一種低層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



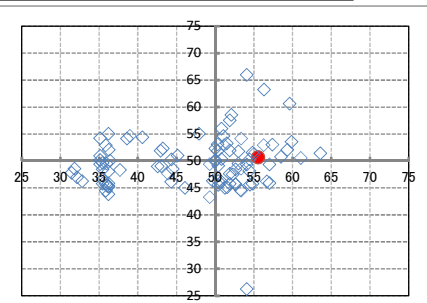
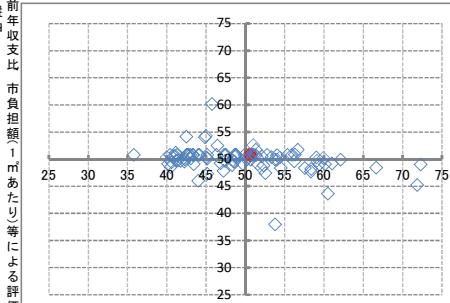
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	3,870	3,870	3,870	
利用状況	利用コマ数/年	1,364	1,084	884
	利用可能コマ数/年	5,385	5,370	5,385
	施設利用者数/年	14,723	15,634	6,999
	開館日数/年	359	358	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	40,244	83,040	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	富塚西会館改修工事	26,054			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-023	富塚協働センター	生活	0.7
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.2
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.7
03-078	城北会館	コミュニティ	1.8
03-074	和合会館	コミュニティ	1.8
03-093	西山会館	コミュニティ	1.8
03-072	馬生会館	コミュニティ	2.0
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.4
15-026	富塚西小学校	生活	0.5
15-025	富塚小学校	生活	0.7
07-068	とみつか放課後児童会	生活	0.7
14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域	0.7
15-107	富塚中学校	生活	0.7
22-001	浜松医療センター	広域	1.1
16-001	看護専門学校	市域	1.3



基本情報	リストNo	03-073	施設コード	02433	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	富塚西会館		施設	中区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から20年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
記入欄	管理主体変更	—	—	—	—			
	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
民活導入	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	25.3	20.2	16.4	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	41	44	19	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性 他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
	1資産の見直し 2民活導入 (1)維持管理 (2)改修・更新時 (3)その他							
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-074	施設コード	02854	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	和合会館			
所在(町名・番地)	中区和合町220-702			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ～ 21:00			
建物情報	総延床面積	122.84	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.02		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1968/3/1		
経過年数(主要建物)	55	代表地目(現況地目)		
用途地域	第一種低層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
物件費(委託料)		0	0	0
維持補修費(修繕費)		0	0	0
物件費(光熱水費)		0	0	0
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	209	186	154
	利用可能コマ数/年	1,095	1,092	1,095
	施設利用者数/年	2,270	1,671	1,753
	開館日数/年	365	364	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.5
03-024	高台協働センター	生活	0.8
03-021	和地山公園集会所	生活	1.1
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.1
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.4
03-023	富塚協働センター	生活	1.5
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.5
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.5
13-016	和合(C1)団地	地域	0.2
12-002	公営競技場	広域	0.6
08-003	権現谷保育園	生活	0.6
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.8
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.8
07-077	たかだい放課後児童会	生活	1.0
15-020	泉小学校	生活	1.0
06-002	城北図書館	市域	1.1



基本情報	リストNo	03-074	施設コード	02854	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	和合会館		施設	中区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から55年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
民間移管		—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—				
民活導入	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	19.1	17.0	14.1	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	6	5	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-075	施設コード	02861	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	和泉会館			
所在(町名・番地)	中区泉二丁目6-3			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	551.88	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.33		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1969/8/1		
経過年数(主要建物)	53	代表地目(現況地目)		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	513	256	256
	利用可能コマ数/年	4,575	4,545	4,545
	施設利用者数/年	6,492	2,341	2,341
	開館日数/年	305	303	303
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-070	幸町会館	コミュニティ	0.5
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	0.5
03-024	高台協働センター	生活	1.0
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.3
03-074	和合会館	コミュニティ	1.4
03-027	北部協働センター	生活	1.5
03-021	和地山公園集会所	生活	1.7
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	0.4
15-024	菟丘小学校	生活	0.4
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.6
15-020	泉小学校	生活	0.6
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.8
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.8
13-012	菟丘団地	地域	0.9
05-002	四ツ池公園浜松球場	広域	1.0



基本情報	リストNo	03-075	施設コード	02861	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	和泉会館		施設	中区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から50年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	11.2	5.6	5.6	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	21	8	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-076	施設コード	02971
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	高丘北会館		
所在(町名・番地)	中区高丘北二丁目29-46		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:00		
建物情報	総延床面積	539.83	土地面積 985.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2007/3/9	
	経過年数(主要建物)	16	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	2	2
	収入計(A)	2	2	2
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	-2	-2	-2	
収支前年比	100.00	100.00	100.00	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,643	2,643	2,643	
利用状況	利用コマ数/年	693	569	567
	利用可能コマ数/年	3,570	3,636	3,648
	施設利用者数/年	13,244	10,665	10,536
	開館日数/年	303	303	304
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	73,932	77,835	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2006	施設新築工事(建築工事)	80,640			
2006	施設新築工事(機械設備工事)	19,526			
2006	施設新築工事(電気設備工事)	11,865			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	0.5
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	0.8
03-068	葵西会館	コミュニティ	0.9
03-098	三方原会館	コミュニティ	1.4
03-027	北部協働センター	生活	1.6
同分類			
その他の分類			
13-004	高丘団地	地域	0.2
13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.2
15-102	開成中学校	生活	0.5
01-029	高丘葵市民サービスセンター	生活	0.5
15-019	瑞穂小学校	生活	0.6
07-017	みずほ放課後児童会	生活	0.6
07-005	葵西放課後児童会	生活	0.7
15-012	葵西小学校	生活	0.7



基本情報	リストNo	03-076	施設コード	02971	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	高丘北会館		施設	中区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。				—			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。			
		特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から15年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
記入欄	民活導入	廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-4	-4	-4	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	19.4	15.6	15.5	1開館日当たりのコスト(円)	-7	-7	-7
	1日当たり利用者(人)	44	35	35	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-077	施設コード	00777	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	江東会館			
所在(町名・番地)	中区富吉町3-3			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市福祉館条例			
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。			
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～21:30			
建物情報	総延床面積	504.25	土地面積 1,044.01	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.91		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/4/1		
	経過年数(主要建物)	43		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	131	108	131
	国県支出金	4,843	4,777	5,491
	その他収入	9	5	15
	収入計(A)	4,983	4,890	5,637
	支出(千円)	人件費	10,000	10,000
物件費(委託料)		334	349	392
維持補修費(修繕費)		417	535	683
物件費(光熱水費)		746	1,052	679
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	11,497	11,936	11,754	
行政コスト(B-A)	6,514	7,046	6,117	
収支前年比	92.45	115.19	139.59	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,628	2,628	2,628	
利用状況	利用コマ数/年	—	948	1,092
	利用可能コマ数/年	19,250	15,150	14,750
	施設利用者数/年	2,966	2,366	2,573
	開館日数/年	308	303	295
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	81,943	15,140	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-022	東部協働センター	生活	0.6
03-031	蒲協働センター	生活	0.8
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.1
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.7
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.8
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.8
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.0
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.6
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.7
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.8
06-007	東図書館	地域	0.8
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.8
15-003	佐藤小学校	生活	0.8
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	0.9



基本情報	リストNo	03-077	施設コード	00777	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	江東会館			施設	中区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。					
		主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり				
		主な利用者	近隣住民・各種講座利用者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		各種事業(無料)82回・延960人、各種事業(有料)402回・延1869人<事業②~④分含む>	2022	—	—	2,829	
			2021	—	—	2,366	
			2020	—	—	2,573	
事業②		絵手紙講習会・茶道講習会・骨盤リラックス講習会・生け花講習会姿勢改善ヨガ講習会・骨盤底筋エクササイズ講習会・カラオケ講習会・成人講座	2022	609	—	811	
			2021	615	—	746	
			2020	399	—	480	
事業③		会館まつり	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2022	—	—	33		
		2021	—	—	32		
		2020	—	—	21		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和40年に開館(平成4年に増築)以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。					
	対応策	施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	12,918	13,973	12,131	1人当たりのコスト(円)	2,196	2,978	2,377
	施設利用率(%)	0.0	6.3	7.4	1開館日当たりのコスト(円)	21,149	23,254	20,736
	1日当たり利用者(人)	10	8	9	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-078	施設コード	01410
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	城北会館		
所在(町名・番地)	中区文丘町1-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市福祉館条例		
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。		
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00～21:30		
建物情報	総延床面積	529.88	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.17	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1978/12/1	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



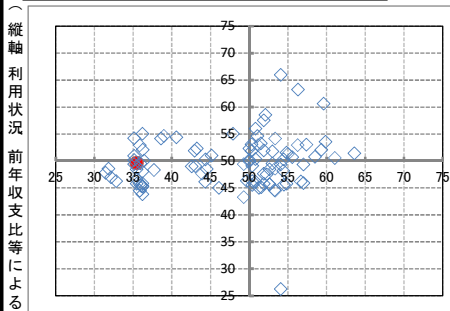
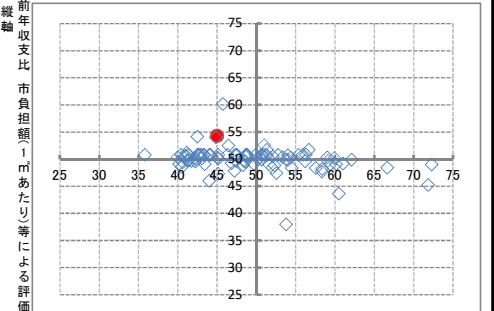
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	281	280	285
	国県支出金	4,843	4,630	4,020
	その他収入	18	10	15
	収入計(A)	5,142	4,920	4,320
	支出(千円)	10,000	10,000	8,400
人件費	382	394	454	
物件費(委託料)	153	196	8,461	
維持補修費(修繕費)	790	1,111	830	
物件費(光熱水費)	0	0	0	
物件費(借地料)	11,325	11,701	18,145	
支出計(B)	6,183	6,781	13,825	
行政コスト(B-A)	91.18	49.05	393.99	
収支前年比	0	0	0	
(参考)指定管理料	2,620	2,620	2,620	
(参考)減価償却費	2,007	1,905	1,799	
利用コマ数/年	19,250	15,150	14,750	
利用可能コマ数/年	6,186	5,357	5,117	
施設利用者数/年	308	303	295	
開館日数/年	—	—	—	
施設定員数	—	—	—	
図書貸出冊数/年	—	—	—	
蔵書数	—	—	—	
入居戸数	—	—	—	
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	45,707	3,812	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度 浜松市城北会館空調設備更新工事	8,129			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-081	文丘集会所	コミュニティ	0.1
03-025	西部協働センター	生活	0.8
03-021	和地山公園集会所	生活	0.8
03-006	勤労会館	地域	1.0
03-023	富塚協働センター	生活	1.0
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.3
03-024	高台協働センター	生活	1.5
03-074	和合会館	コミュニティ	1.6
08-007	西保育園	生活	0.1
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.4
15-108	北部中学校	生活	0.5
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.5
15-006	追分小学校	生活	0.5
15-015	広沢小学校	生活	0.7
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.7
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.7



基本情報	リストNo	03-078	施設コード	01410	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	城北会館		施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。					
		主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり				
		主な利用者	近隣住民・各種講座利用者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		各種事業(無料)171回・延1494人、各種事業(有料)686回・延4513人<事業②~④分含む>	2022	—	—	6,007	
			2021	—	—	5,233	
			2020	—	—	5,127	
事業②		生花講習会・民謡講習会・七宝焼講習会・手芸・手編み講習会・ヨガ講習会・らくらく健康体操講習会・成人講座	2022	637	—	781	
			2021	643	—	652	
			2020	518	—	663	
事業③		会館まつり	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2022	—	—	9		
		2021	—	—	6		
		2020	—	—	27		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和37年に開館(昭和53年に改築)以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。					
	対応策	施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,669	12,797	26,091	1人当たりのコスト(円)	1,000	1,266	2,702
	施設利用率(%)	10.4	12.6	12.2	1開館日当たりのコスト(円)	20,075	22,380	46,864
	1日当たり利用者(人)	20	18	17	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-079	施設コード	02627
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	北星会館		
所在(町名・番地)	中区花川町1977		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市福祉館条例		
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。		
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	462.03	土地面積 2,198.52
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.54	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1979/3/1	
経過年数(主要建物)	44	代表地目(現況地目)	官公庁用地
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	118	82	60
	国県支出金	4,843	4,327	3,622
	その他収入	3	5	3
	収入計(A)	4,964	4,414	3,685
支出(千円)	人件費	9,200	7,200	5,600
	物件費(委託料)	419	497	454
	維持補修費(修繕費)	3,732	1,324	68
	物件費(光熱水費)	608	815	534
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	13,959	9,836	6,656	
行政コスト(B-A)		8,995	5,422	2,971
収支前年比		165.90	182.50	104.58
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,503	2,503	2,503
利用状況	利用コマ数/年	756	817	534
	利用可能コマ数/年	15,400	15,150	14,750
	施設利用者数/年	3,333	2,739	2,407
	開館日数/年	308	303	295
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	43,087	3,642	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.7
03-040	和地協働センター	生活	1.9
同分類			
その他の分類			
07-012	北星児童館	生活	0.0
15-001	花川小学校	生活	0.1
08-024	花川幼稚園	生活	0.2
14-040	浜松第28分団	コミュニティ	0.2
13-019	花川団地改良住宅	地域	0.3
05-005	花川運動公園庭球場	市域	0.6
08-001	花川保育園	生活	1.3
05-008	北部水泳場	地域	1.5



基本情報	リストNo	03-079	施設コード	02627	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	北星会館		施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	1
複合施設		北星児童館					
関連政策名 すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進							
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。						
	主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり					
	主な利用者	近隣住民・各種講座利用者					
	設置目的の継続性・妥当性						
施設運営分析	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる				
	特記事項		—				
	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	各種事業(無料)142回・延1525人、各種事業(有料)264回・延1491人<事業②~④分含む>		2022	—	—	3,016
2021				—	—	2,749	
2020				—	—	2,407	
2022				602	—	958	
事業②	ストレッチ体操講習会・骨盤調整講習会・健康吹き矢講習会・竜扇講習会・キルト手芸講習会・ゆったりエクササイズ講習会・生け花講習会		2021	699	—	958	
			2020	592	—	891	
			2022	—	—	—	
事業③	会館まつり		2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談		2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	昭和39年に開館(昭和54年に改築)以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。					
	対応策	施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	19,468	11,735	6,430	1人当たりのコスト(円)	2,699	1,980	1,234
	施設利用率(%)	4.9	5.4	3.6	1開館日当たりのコスト(円)	29,205	17,894	10,071
	1日当たり利用者(人)	11	9	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-080	施設コード	00770
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	江西会館		
所在(町名・番地)	中区春日町41-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市福祉館条例		
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。		
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	477.51	土地面積 743.93
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1982/3/1	
	経過年数(主要建物)	41	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	196	169	171
	国県支出金	4,843	4,645	3,564
	その他収入	6	9	25
	収入計(A)	5,045	4,823	3,760
	支出(千円)	10,000	10,000	5,600
人件費	372	399	465	
維持補修費(修繕費)	600	759	216	
物件費(光熱水費)	602	770	459	
物件費(借地料)	0	0	0	
支出計(B)	11,574	11,928	6,740	
行政コスト(B-A)	6,529	7,105	2,980	
収支前年比	91.89	238.42	93.62	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	3,587	3,587	3,587	
利用状況	利用コマ数/年	1,345	1,120	1,018
	利用可能コマ数/年	19,250	15,150	14,750
	施設利用者数/年	5,455	4,254	3,740
	開館日数/年	308	303	295
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	41,282	15,980	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-029	南部協働センター	生活	1.1
03-004	福祉交流センター	市域	1.2
03-028	県居協働センター	生活	1.2
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.7
03-047	白脇協働センター	生活	1.8
03-048	新津協働センター	生活	1.9
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	2.0
07-007	江西児童館	生活	0.0
13-020	春日団地改良住宅	地域	0.2
15-098	江西中学校	生活	0.2
15-021	浅間小学校	生活	0.3
08-004	江西保育園	生活	0.3
14-038	浜松第12分団	コミュニティ	0.5
14-003	南消防署	地域	0.7
14-004	消防車両整備工場	地域	0.7



基本情報	リストNo	03-080	施設コード	00770	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	江西会館		施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2
複合施設		江西児童館					
関連政策名 すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進							
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。						
	主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり					
	主な利用者	近隣住民・各種講座利用者					
	設置目的の継続性・妥当性						
施設運営分析	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる				
	特記事項		—				
	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	各種事業(無料)211回・延1778人、各種事業(有料)421回・延3255人<事業②~④分含む>	2022	—	のべ募集人員	参加者数	5,033
主な事業	事業②	民謡講習会・茶道講習会・手芸手編み講習会・三味線尺八講習会・アートクラフト講習会・絵手紙講習会・歌謡講習会・フィットネス講習会・夏の図画工作教室・ピンクリボン講習会・スマホ学習会・成人講座	2022	622	—	1,702	
		2021	601	—	1,332		
		2020	546	—	1,262		
	事業③	会館まつり	2022	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
	事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2022	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
2020		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	昭和38年に開館(昭和57年改築)以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。					
	対応策	施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,673	14,879	6,241	1人当たりのコスト(円)	1,197	1,670	797
	施設利用率(%)	7.0	7.4	6.9	1開館日当たりのコスト(円)	21,198	23,449	10,102
	1日当たり利用者(人)	18	14	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-081	施設コード	02485	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	文丘集会所			
所在(町名・番地)	中区文丘町501-1			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史	
	施設	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	地域活性化のための住民活動を支援する。			
主な利用者	布橋北自治会			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	133.83	土地面積 243.70	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1982/3/25		
	経過年数(主要建物)	41		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	23,730	—	23,730
財源	国・県	14,470	—	14,470
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	9,260	—	9,260
特記事項	—			



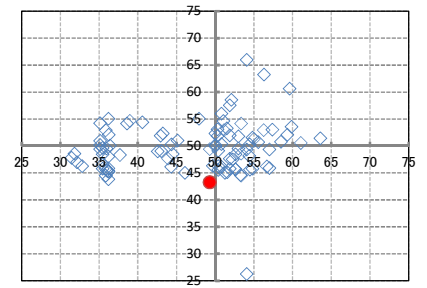
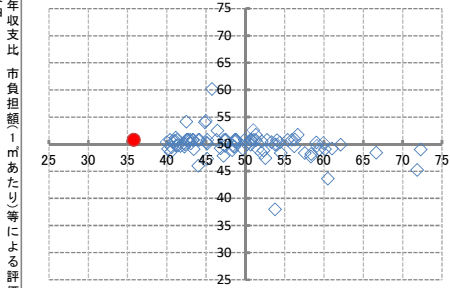
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	741	741	741	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,303	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-078	城北会館	コミュニティ	0.1
03-021	和地山公園集会所	生活	0.7
03-025	西部協働センター	生活	0.9
03-023	富塚協働センター	生活	1.0
03-006	勤労会館	地域	1.1
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.2
03-024	高台協働センター	生活	1.4
03-074	和合会館	コミュニティ	1.5
08-007	西保育園	生活	0.2
15-108	北部中学校	生活	0.4
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.5
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.6
15-006	追分小学校	生活	0.6
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.7
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.8
15-015	広沢小学校	生活	0.8



基本情報	リストNo	03-081	施設コード	02485	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	
	施設名	文丘集会所			施設	健康福祉部福祉総務課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		地域活性化のための住民活動を支援する。						
		主な業務内容	地域の集会、住民交流活動					
		主な利用者	布橋北自治会					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		設置当初から大きな変化はない					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		横ばい状態で推移すると思われる					
	特記事項		S56年度社会教育施設整備費補助金により建設した施設。地元自治会への無償貸与					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	自治会活動	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)							
	課題	土地は所有者から無償で借り受けている。屋根と外壁が傷んできており、土地所有者からは修繕しないのであれば取り壊してほしいとの要望がある。						
	対応策	S57.4.1布橋北自治会長との間で締結された、管理運営委託契約第8条において維持管理および施設修理費等必要な経費は自治会負担となっており、地元自治会との協議が必要になってくる。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	○	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
広域化		—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
個別方針	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
	1資産の見直し	管理主体変更	統廃合	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。管理主体変更や近隣集会所等との統廃合など検討する。</p>								

リストNo	03-082	施設コード	01952
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区		
所在(町名・番地)	中区富塚町3983-5		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之
	施設	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	本施設は、富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区の自然環境保全活動の拠点施設としての活用を望む市民から寄附を受けた。寄附の趣旨に基づき自然環境保全や自然観察の活動拠点として活用する。		
主な利用者	保全活動を行うボランティア団体など		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	116.26	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1994/6/1	
経過年数(主要建物)	28	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



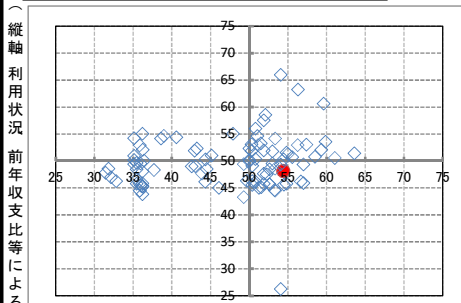
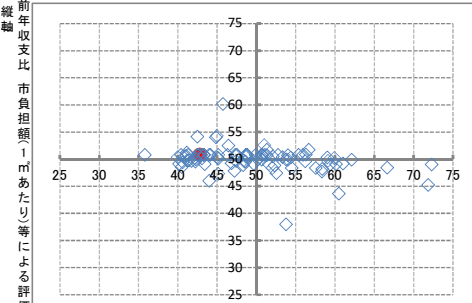
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	72	71	74
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	72	71	74
	行政コスト(B-A)	72	71	74
	収支前年比	101.41	95.95	91.36
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	754	754	754
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	1,204	1,107	1,074
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,729	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-074	和合会館	コミュニティ	1.1
03-073	富塚西会館	コミュニティ	1.2
03-093	西山会館	コミュニティ	1.3
03-023	富塚協働センター	生活	1.4
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.5
03-024	高台協働センター	生活	1.9
12-002	公営競技場	広域	0.6
15-026	富塚西小学校	生活	0.8
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.9
13-016	和合(C1)団地	地域	1.1
13-030	西山団地	地域	1.1
08-003	権現谷保育園	生活	1.1
15-025	富塚小学校	生活	1.2
07-068	とみつか放課後児童会	生活	1.2



基本情報	リストNo	03-082	施設コード	01952	所管課	本庁	都市整備部緑政課
	施設名	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区				施設	都市整備部緑政課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	緑化推進・緑地保全					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		本施設は、富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区の自然環境保全活動の拠点施設としての活用を望む市民から寄附を受けた。寄附の趣旨に基づき自然環境保全や自然観察の活動拠点として活用する。					
		主な業務内容	市民協働による保全活動及び自然観察活動の拠点				
		主な利用者	保全活動を行うボランティア団体など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年間を通じて多くの利用者があり、利用の落ち込みはない。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		自然環境保全への関心は高まる。				
	特記事項		特になし				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域の自然を守るボランティア団体が主催する保全活動や観察会のために利用されている。	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	電気設備等、不具合が生じた際に都度、修繕を行っている。古い施設であるため、今後、建物や設備等において大規模な修繕や設備の更新が必要になる可能性がある。					
	対応策	計画的な修繕を実行していくことで建物の長寿命化を図る。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	椎ノ木谷特別緑地保全地区内の保全活動を行っている「椎ノ木谷保全の会」との市民協働による管理運営が行われている。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	619	611	637	1人当たりのコスト(円)	60	64	69
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 前年収支比率等による評価</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 利用状況等による評価</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	参考	<p>利用者の圏域毎の方向性 公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	個別方針	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>椎ノ木谷特別緑地保全地区の保全活動(市民団体によるボランティア)の拠点として、当面適切な維持管理に努める。更新時には、保全活動等の状況を踏まえ、特別緑地保全地区として必要な機能に限定した整備を行う。</p>								

リストNo	03-083	施設コード	00182	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	安新会館			
所在(町名・番地)	東区安新町274			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	165.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.01		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/3/1		
	経過年数(主要建物)	43		
用途地域	準工業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		902	902	902
利用状況	利用コマ数/年	48	69	50
	利用可能コマ数/年	3,285	3,285	3,612
	施設利用者数/年	649	684	530
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,216	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-032	天竜協働センター	生活	0.5
03-086	北島会館	コミュニティ	0.8
同分類			
その他の分類			
15-031	中ノ町小学校	生活	0.5
07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活	0.5
08-026	中ノ町幼稚園	生活	0.5
13-024	北島団地	地域	0.8
08-031	和田幼稚園	生活	0.8
14-045	浜松第24分団	コミュニティ	0.9
15-037	和田小学校	生活	0.9
07-026	和田っ子放課後児童会	生活	0.9



基本情報	リストNo	03-083	施設コード	00182	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	安新会館		施設	東区・区民生活課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
	特記事項 航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
民活導入	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
—	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	1.5	2.1	1.4	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	2	2	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-084	施設コード	00768
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	恒武会館		
所在(町名・番地)	東区恒武町311-2		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 22:00		
建物情報	総延床面積	137.10	土地面積 283.63
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1983/3/25	
	経過年数(主要建物)	40	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	2	2
	収入計(A)	2	2	2
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		-2	-2	-2
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		864	864	864
利用状況	利用コマ数/年	116	85	83
	利用可能コマ数/年	1,095	1,095	2,709
	施設利用者数/年	1,668	1,266	1,138
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	10,763	4,712	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-034	笠井協働センター	生活	0.7
08-010	笠井保育園	生活	0.6
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	0.9
08-027	豊西幼稚園	生活	0.9
14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.9
08-025	笠井幼稚園	生活	0.9
15-033	豊西小学校	生活	0.9
15-027	笠井小学校	生活	1.0
07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	1.0



基本情報	リストNo	03-084	施設コード	00768	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	恒武会館			施設	東区・区民生活課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
記入欄	民活導入	廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-15	-15	-15	1人当たりのコスト(円)	-1	-2	-2
	施設利用率(%)	10.6	7.8	3.1	1開館日当たりのコスト(円)	-5	-5	-5
	1日当たり利用者(人)	5	3	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-085	施設コード	01258	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	小池会館			
所在(町名・番地)	東区小池町1184			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸	
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	513.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1991/3/20		
	経過年数(主要建物)	32		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6,239	1	1
	収入計(A)	6,239	1	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		-6,239	-1	-1
収支前年比		623900.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,533	3,533	3,533
利用状況	利用コマ数/年	280	305	249
	利用可能コマ数/年	4,695	4,695	4,515
	施設利用者数/年	9,101	10,251	3,205
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	47,537	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	通路上屋増築及び集会室サッシ改修工事	10,195			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-033	長上協働センター	生活	0.9
15-036	与進北小学校	生活	0.6
07-024	与進北放課後児童会	生活	0.6
13-026	鷺の宮団地	地域	1.0
08-029	有玉幼稚園	生活	1.1
14-011	東消防署有玉出張所	地域	1.2
08-030	与進幼稚園	生活	1.3
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	1.3
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	1.3



基本情報	リストNo	03-085	施設コード	01258	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	小池会館			施設	東区・区民生活課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から30年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
民間移管		—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—				
民活導入	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-12,162	-2	-2	1人当たりのコスト(円)	-686	0	0
	施設利用率(%)	6.0	6.5	5.5	1開館日当たりのコスト(円)	-17,093	-3	-3
	1日当たり利用者(人)	25	28	9	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
個別方針	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
	<p>1資産の見直し</p> <p>—</p> <p>2民活導入 (1)維持管理 — (2)改修・更新時 — (3)その他 —</p> <p>当面適切な維持管理に努める。</p>							

リストNo	03-086	施設コード	02630
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	北島会館		
所在(町名・番地)	東区北島町542		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:00		
建物情報	総延床面積	360.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.79	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1980/3/1	
	経過年数(主要建物)	43	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,188	1,166	0
	収入計(A)	1,188	1,166	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	2,332	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	2,332	0	
行政コスト(B-A)		-1,188	1,166	0
収支前年比		-101.89	—	0.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,835	1,835	1,835
利用状況	利用コマ数/年	148	180	51
	利用可能コマ数/年	4,380	4,380	3,675
	施設利用者数/年	1,224	1,602	1,172
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,506	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-032	天竜協働センター	生活	0.7
03-083	安新会館	コミュニティ	0.8
同分類			
その他の分類			
13-024	北島団地	地域	0.1
08-031	和田幼稚園	生活	0.7
15-037	和田小学校	生活	0.7
07-026	和田っ子放課後児童会	生活	0.7
14-009	東消防署	地域	1.0
14-042	浜松第20分団	コミュニティ	1.1
26-040	天王雨水ポンプ場	—	1.2
15-114	天竜中学校	生活	1.2



基本情報	リストNo	03-086	施設コード	02630	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	北島会館			施設	東区・区民生活課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管 管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-3,300	3,239	0	1人当たりのコスト(円)	-971	728	0
	施設利用率(%)	3.4	4.1	1.4	1開館日当たりのコスト(円)	-3,255	3,195	0
	1日当たり利用者(人)	3	4	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-087	施設コード	00372	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	下之谷会館			
所在(町名・番地)	西区和地町6749			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ~ 22:00			
建物情報	総延床面積	122.52	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.94		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



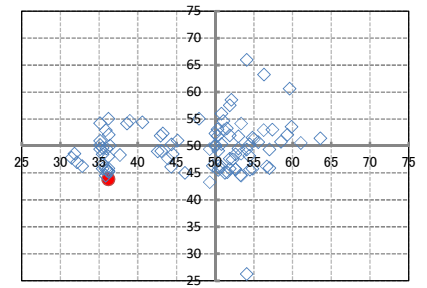
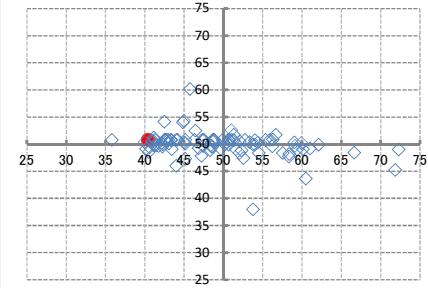
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		798	798	798
利用状況	利用コマ数/年	16	25	19
	利用可能コマ数/年	1,095	1,095	2,190
	施設利用者数/年	159	221	189
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,759	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.2
03-040	和地協働センター	生活	1.4
03-096	平松会館	コミュニティ	1.7
同分類			
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	0.2
10-004	ふれあい交流センター湖東	地域	0.2
08-040	和地幼稚園	生活	0.2
24-020	和地排水機場	—	0.5
15-119	湖東中学校	生活	0.8
26-011	湖東浄化センター	—	0.9
13-039	湖東団地	地域	1.0
20-006	平和最終処分場	地域	1.2
その他の分類			



基本情報	リストNo	03-087	施設コード	00372	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当		
	施設名	下之谷会館				施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため								
		主な業務内容	貸館業務							
		主な利用者	地域住民							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
事業②		—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—	—			
	—	2020	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。								
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
民間移管 管理主体変更		—	—	—	—					
記入欄	代替サービス	—	—	—	—					
	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—						
民活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	1.5	2.3	0.9	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	0	1	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-088	施設コード	00690		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	湖東会館				
所在(町名・番地)	西区湖東町2964-1				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一		
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有		
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律				
条例	浜松市学習等供用施設条例				
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。				
主な利用者	地域住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:00				
建物情報	総延床面積	360.06	土地面積	884.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	884.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.82			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1980/1/1			
	経過年数(主要建物)	43			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
	設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
物件費(委託料)		0	0	0
維持補修費(修繕費)		0	0	0
物件費(光熱水費)		0	0	0
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)		0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,195	2,195	2,195
利用状況	利用コマ数/年	280	254	327
	利用可能コマ数/年	4,380	4,380	4,344
	施設利用者数/年	3,400	2,522	3,061
	開館日数/年	365	365	362
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	26,968	5,388	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2013	屋根改修工事	2,713			
	2007	復温除工事及び改修工事(機械設備工事)	13,440			
	2007	復温除工事及び改修工事(建築工事)	12,380			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-097	北原会館	コミュニティ	0.8
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.1
03-040	和地協働センター	生活	1.3
03-043	農村環境改善センター	生活	1.4
03-079	北星会館	コミュニティ	1.7
その他の分類			
20-004	西部衛生工場	地域	1.0
14-013	西消防署湖東出張所	地域	1.1
15-048	和地小学校	生活	1.2
26-035	和地中継ポンプ場	—	1.2
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	1.2
13-039	湖東団地	地域	1.3
05-008	北部水泳場	地域	1.4
26-011	湖東浄化センター	—	1.5



基本情報	リストNo	03-088	施設コード	00690	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	湖東会館		施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者がおり需要は確保している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項			航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	6.4	5.8	7.5	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	9	7	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-089	施設コード	00692	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	湖東西会館			
所在(町名・番地)	西区湖東町1484-225			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:00			
建物情報	総延床面積	321.88	土地面積 273.74	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.81		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,023	2,023	2,023
利用状況	利用コマ数/年	192	146	196
	利用可能コマ数/年	3,285	4,380	4,380
	施設利用者数/年	2,478	1,799	3,077
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	8,351	6,990	—	

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)
2016	外壁及び屋上防水改修工事	7,270		
2011	空調機改修工事	5,775		

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-040	和地協働センター	生活	0.7
03-097	北原会館	コミュニティ	1.0
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.1
03-087	下之谷会館	コミュニティ	1.2
03-043	農村環境改善センター	生活	1.6
13-039	湖東団地	地域	0.3
26-011	湖東浄化センター	—	0.4
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.6
15-048	和地小学校	生活	0.6
26-035	和地中継ポンプ場	—	0.8
15-119	湖東中学校	生活	0.9
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	1.0
24-020	和地排水機場	—	1.1



基本情報	リストNo	03-089	施設コード	00692	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	湖東西会館		施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	5.8	3.3	4.5	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	7	5	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-090	施設コード	00898	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	佐浜会館			
所在(町名・番地)	西区佐浜町1933-1			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	7:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	206.05	土地面積 919.70	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.31		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



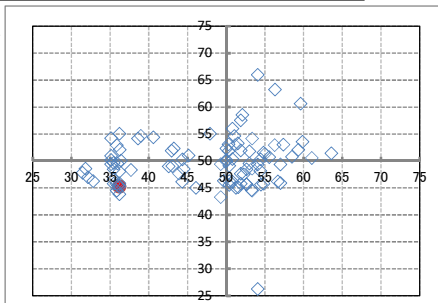
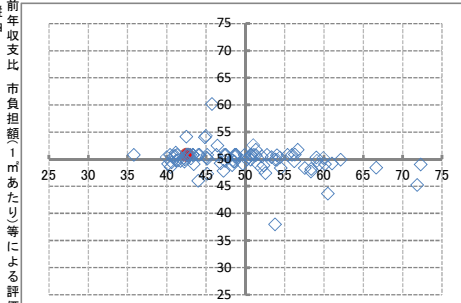
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	135	147	142
	利用可能コマ数/年	2,190	2,190	2,190
	施設利用者数/年	1,539	1,880	1,945
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	18,394	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.0
03-096	平松会館	コミュニティ	1.6
同分類			
その他の分類			
24-010	佐浜第1排水機場	—	0.2
24-011	佐浜第2排水機場	—	0.3
14-049	浜松第36分団	コミュニティ	1.0
07-036	伊佐見放課後児童会	生活	1.0
15-041	伊佐見小学校	生活	1.0
08-033	伊佐見幼稚園	生活	1.0
26-013	腫ヶ丘中継ポンプ場	—	1.2
06-010	はまゆう図書館	地域	1.3



基本情報	リストNo	03-090	施設コード	00898	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	佐浜会館			施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
	特記事項 航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	6.2	6.7	6.5	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	4	5	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-091	施設コード	01456	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	神ヶ谷会館		施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する施設である。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から35年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
民活導入	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
—	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	11.5	7.8	11.7	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	24	13	24	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-092	施設コード	01469	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	神原会館			
所在(町名・番地)	西区神原町772-6			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ~ 22:00			
建物情報	総延床面積	314.30	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1995/3/1		
経過年数(主要建物)	28	代表地目(現況地目)		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,418	2,418	2,418
利用状況	利用コマ数/年	430	344	379
	利用可能コマ数/年	4,380	4,380	2,520
	施設利用者数/年	7,708	5,039	7,548
	開館日数/年	365	365	210
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	42,202	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-037	神久呂協働センター	生活	0.5
03-093	西山会館	コミュニティ	1.0
03-043	農村環境改善センター	生活	1.3
03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	1.8
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.9
03-097	北原会館	コミュニティ	2.0
20-005	西部衛生工場神原ポンプ場	地域	0.9
08-014	神田原保育園	生活	0.9
07-030	松かげ第2放課後児童会	生活	1.0
15-043	神久呂小学校	生活	1.0
08-034	神久呂幼稚園	生活	1.1
15-117	神久呂中学校	生活	1.4
13-030	西山団地	地域	1.5
06-010	はまゆづ図書館	地域	1.5



基本情報	リストNo	03-092	施設コード	01469	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	神原会館			施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項			航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から25年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管 管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	9.8	7.9	15.0	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	21	14	36	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-093	施設コード	01574	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	西山会館			
所在(町名・番地)	西区西山町2050-2			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	615.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.48		
	耐震工数(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1978/1/1		
	経過年数(主要建物)	45		代表地目(現況地目)
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



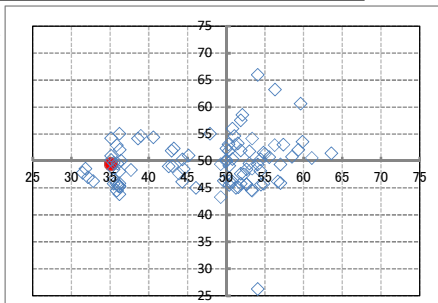
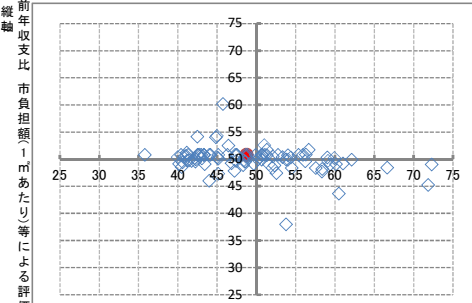
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
	行政コスト(B-A)	0	0	0
	収支前年比	—	—	—
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	3,455	3,455	3,455
利用状況	利用コマ数/年	978	809	722
	利用可能コマ数/年	3,984	4,380	3,516
	施設利用者数/年	13,205	11,050	1,059
	開館日数/年	332	365	293
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,571	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁等改修工事	10,232			
2016	西山会館改修工事	8,905			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-092	神原会館	コミュニティ	1.0
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.3
03-043	農村環境改善センター	生活	1.4
03-037	神久呂協働センター	生活	1.6
03-073	富塚西会館	コミュニティ	1.8
08-014	神田原保育園	生活	0.2
13-030	西山団地	地域	0.4
20-004	西部衛生工場	地域	1.5
12-002	公営競技場	広域	1.8
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	1.8
14-013	西消防署湖東出張所	地域	1.8
15-026	富塚西小学校	生活	1.8
08-034	神久呂幼稚園	生活	1.9



基本情報	リストNo	03-093	施設コード	01574	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	西山会館		施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から45年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—			
民活導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	24.5	18.5	20.5	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	40	30	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
個別方針	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
	<p>1資産の見直し</p> <p>—</p> <p>2民活導入 (1)維持管理 — (2)改修・更新時 — (3)その他 —</p> <p>当面適切な維持管理に努める。</p>							

基本情報	リストNo	03-094	施設コード	01732	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	村櫛会館		施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から30年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	20.3	19.6	18.2	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	29	28	20	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-095	施設コード	01745				
利用用途別分類(施設分類)	集会施設						
施設名	大久保会館						
所在(町名・番地)	西区大久保町2862-1						
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一				
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有				
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律						
条例	浜松市学習等供用施設条例						
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
主な利用者	地域住民						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	9:00 ～ 22:00						
建物情報	総延床面積	470.40	土地面積	4,056.00			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			土地情報	4,056.00	
	地上階数(主要建物)	1					うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	—			代表地目(現況地目)	学校用地	
	建築年月日(主要建物)	1988/4/1					
	経過年数(主要建物)	35					
用途地域	市街化調整区域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,191	3,191	3,191
利用状況	利用コマ数/年	316	309	371
	利用可能コマ数/年	5,475	5,475	4,005
	施設利用者数/年	4,312	4,238	4,614
	開館日数/年	365	365	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	23,553	36,551	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	空調設備更新工事	5,607			
2008	屋上防水改修工事	3,885			

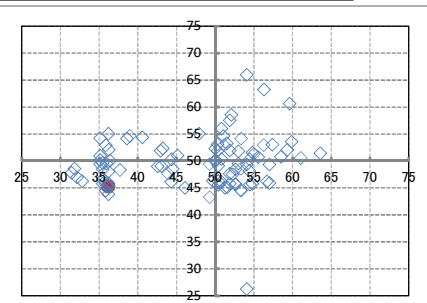
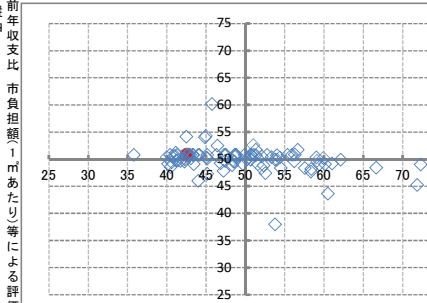
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-047	浜松第32分団	コミュニティ	1.5
15-117	神久呂中学校	生活	1.6
13-035	腫ヶ丘団地	地域	1.6
13-037	田端団地	地域	1.8
16-009	雄踏学校給食センター	地域	1.8
26-013	腫ヶ丘中継ポンプ場	—	1.8
21-002	雄踏斎場	地域	1.8
15-039	西都台小学校	生活	2.0



基本情報	リストNo	03-095	施設コード	01745	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	大久保会館				施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から35年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
民間移管		—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—				
民活導入	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	5.8	5.6	9.3	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	12	12	17	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-096	施設コード	02494	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	平松会館			施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
民活導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	4.0	2.8	13.1	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	5	3	14	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
		公共施設等総合管理計画より抜粋	他類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。					
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-097	施設コード	02618	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	北原会館			
所在(町名・番地)	西区伊左地町166			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	144.60	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	2.08		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1979/1/1		
	経過年数(主要建物)	44		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



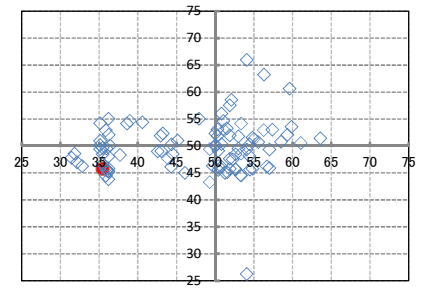
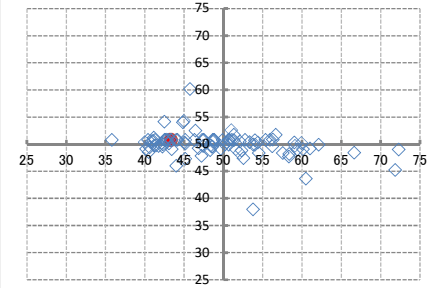
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		849	849	849
利用状況	利用コマ数/年	112	100	91
	利用可能コマ数/年	2,190	2,190	2,190
	施設利用者数/年	1,405	1,354	1,248
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,236	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2009	空調設備等改修工事	2,663			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-043	農村環境改善センター	生活	0.7
03-088	湖東会館	コミュニティ	0.8
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.0
03-040	和地協働センター	生活	1.5
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.9
03-092	神原会館	コミュニティ	2.0
14-013	西消防署湖東出張所	地域	0.3
20-004	西部衛生工場	地域	0.6
13-039	湖東団地	地域	1.3
15-119	湖東中学校	生活	1.3
26-011	湖東浄化センター	—	1.3
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	1.5
15-048	和地小学校	生活	1.5
26-035	和地中継ポンプ場	—	1.6



基本情報	リストNo	03-097	施設コード	02618	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	北原会館			施設	西区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。				
	特記事項				航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
民間移管		—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—				
民活導入	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0	
	施設利用率(%)	5.1	4.6	4.2	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0	
	1日当たり利用者(人)	4	4	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
		1資産の見直し		—	—	—	—	—	—
2民活導入		(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-098	施設コード	01010	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	三方原会館			
所在(町名・番地)	北区三方原町562-1			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	553.88	土地面積 1,473.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.75		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 1,473.00
	建築年月日(主要建物)	1977/4/1		
	経過年数(主要建物)	46		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	1,083	0
	収入計(A)	0	1,083	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	2,167	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	2,167	0
行政コスト(B-A)	0	1,084	0	
収支前年比	0.00	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,713	2,713	2,713	
利用状況	利用コマ数/年	1,170	796	651
	利用可能コマ数/年	5,475	4,839	5,490
	施設利用者数/年	16,775	11,460	9,259
	開館日数/年	365	365	366
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,234	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)	
近隣施設							
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)			
	03-068	葵西会館	コミュニティ	0.6			
	03-050	三方原協働センター	生活	1.1			
	03-076	高丘北会館	コミュニティ	1.4			
	03-067	葵が丘会館	コミュニティ	1.7			
	03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.8			
	08-050	三方原幼稚園	生活	0.1			
	07-072	みかた放課後児童会	生活	0.4			
	15-069	三方原小学校	生活	0.4			
	14-064	浜松第29分団	コミュニティ	0.4			
その他の分類	13-002	葵西四丁目団地	地域	0.4			
	13-003	葵西二丁目団地	地域	0.6			
	14-021	中消防署曳馬野出張所	地域	0.8			
	07-005	葵西放課後児童会	生活	0.8			
	施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	03-098	施設コード	01010	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	三方原会館			施設	北区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、ニーズは減少傾向にある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設から45年以上が経過し、建物の経年劣化による不具合も多く発生していることから、施設改修を計画的に実施していく必要がある。また、管理運営を委託している18の地域自治会にとって施設自体の必要性に対する考え方に温度差があり、利用者の確保にも苦労していることから、今後の施設の管理運営方法に課題が残る。						
	対応策	老朽化した箇所を計画的に修繕していきながら施設を存続していく。一方、18の自治会が施設の存続等について協議を行っていただくと共に、施設の地域における役割などを検証していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	1,957	0	1人当たりのコスト(円)	0	95	0
	施設利用率(%)	21.4	16.4	11.9	1開館日当たりのコスト(円)	0	2,970	0
	1日当たり利用者(人)	46	31	25	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-103	施設コード	04484	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町佐久間429-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市佐久間歴史と民話の郷会館条例			
設置目的	市民の芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため。			
主な利用者	市民(佐久間地区)			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	8,798.09	土地面積 14,477.21	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1996/5/20		
	経過年数(主要建物)	26		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	2,932,721	—	2,932,721	
財源	国・県	32,234	—	32,234
	寄付金	—	—	—
	その他	1,362,865	—	1,362,865
	市債	1,483,300	—	1,483,300
	一般財源	54,322	—	54,322
特記事項	・佐久間協働センターの移転により、H29から施設名称を佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センターとしている。 ・NPOに管理運営業務を委託しており、人件費は発生しない。 ・物件費の大半は佐久間協働センター管理運営事業で執行しているが、生涯学習費を含む項目については各コメントに内訳を記載している。			



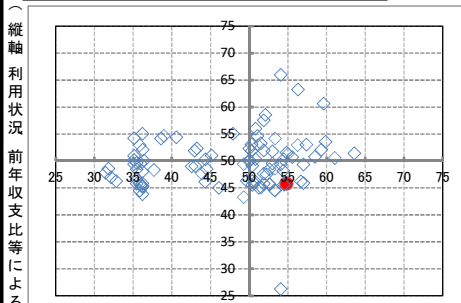
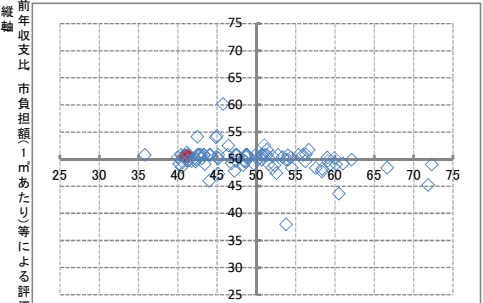
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,053	619	375
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9,004	8,523	6,912
	収入計(A)	10,057	9,142	7,287
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	16,338	16,401	15,796
	維持補修費(修繕費)	4,149	3,877	1,091
	物件費(光熱水費)	11,807	10,459	10,206
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	32,294	30,737	27,093
行政コスト(B-A)		22,237	21,595	19,806
収支前年比		102.97	109.03	116.45
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		59,241	59,241	59,241
利用状況	利用コマ数/年	2,008	2,746	844
	利用可能コマ数/年	26,902	25,661	24,519
	施設利用者数/年	10,001	12,561	4,119
	開館日数/年	313	308	284
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	96,026	1,421,784	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	吊り天井落下防止対策工事	39,069	2013	計測震度計更新工事	6,405
2018	設備改修工事	61,937	2013	BEMS導入工事	6,048
2017	屋根防水工事	19,165			
2014	自動火災報知設備更新工事	4,044			
2014	舞台吊物ワイヤーロープ交換工事	3,348			
2014	自動火災報知設備感知器取替工事	3,197			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-105	佐久間協働センター体育館	地域	0.3
06-016	佐久間図書館	地域	0.3
26-024	佐久間浄化センター	—	0.8
13-086	半場団地	地域	1.0
15-092	佐久間小学校	生活	1.0
08-080	佐久間幼稚園	生活	1.1
02-007	半場教職員住宅	地域	1.1
14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	1.5
01-027	佐久間協働センター	地域	1.6



基本情報	リストNo	03-103	施設コード	04484	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	—							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため。							
		主な業務内容	佐久間歴史と民話の郷会館の管理。						
		主な利用者	市民(佐久間地区)						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		減少していない				減少していない			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				変化しない			
	特記事項	地域の中核施設である							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	和太鼓教室・65回	2022	500	—	686			
			2021	500	—	499			
			2020	41	—	64			
	事業②	ジュニア吹奏楽講座・14回	2022	161	2	21			
			2021	185	7	34			
			2020	253	10	77			
	事業③	あつまれ! わくわくきっず・1回	2022	—	3	3			
			2021	9	3	3			
			2020	19	14	13			
事業④	地域文化セミナー・9回	2022	66	27	75				
		2021	73	18	75				
		2020	66	20	73				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から20年以上が経過し、施設や設備に経年劣化や破損が目立ってきている。また、部品の製造中止・廃番によって修繕できない機器が増えており、更新するしかない状況が増えてきている。							
	対応策	計画的に、各設備の修繕又は更新を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	○	—			
代替サービス		—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	○	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	NPO法人ががんばらまいか佐久間へ一部管理を委託している。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,527	2,455	2,251	1人当たりのコスト(円)	2,223	1,719	4,808
	施設利用率(%)	7.5	10.7	3.4	1開館日当たりのコスト(円)	71,045	70,114	69,739
	1日当たり利用者(人)	32	41	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	利用者の圏域毎の方向性 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分種毎の方向性 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努め、更新時には利用状況を踏まえ、他施設との複合化や規模適正化など検討する。								

リストNo	03-105	施設コード	05067	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	佐久間協働センター体育館			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町佐久間2327-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	—	課長名	
	施設	天竜区佐久間協働センター	課長名 高氏 淳	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るとともに地域住民のスポーツを通じた健康づくり、体力づくりの場として提供していく。			
主な利用者	一般市民、スポーツ団体等			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	951.80	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1992/4/1		
	経過年数(主要建物)	31		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	219,580	—	219,580
財源	国・県	4,738	—	4,738
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	45,700	—	45,700
	一般財源	169,142	—	169,142
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	63	63	47
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	63	63	47
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	417	277	438
	維持補修費(修繕費)	39	75	0
	物件費(光熱水費)	785	647	566
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	1,241	999	1,004	
行政コスト(B-A)		1,178	936	957
収支前年比		125.85	97.81	108.38
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,546	2,546	2,546
利用状況	利用コマ数/年	136	260	199
	利用可能コマ数/年	14,001	14,001	12,987
	施設利用者数/年	1,331	1,104	813
	開館日数/年	359	359	333
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	11,680	8,488	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-103	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター	地域	0.3
06-016	佐久間図書館	地域	0.1
26-024	佐久間浄化センター	—	0.6
13-086	半場団地	地域	0.7
15-092	佐久間小学校	生活	0.8
08-080	佐久間幼稚園	生活	0.9
02-007	半場教職員住宅	地域	0.9
14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	1.2
01-027	佐久間協働センター	地域	1.4



基本情報	リストNo	03-105	施設コード	05067	所管課	本庁	—
	施設名	佐久間協働センター体育館			施設	天竜区佐久間協働センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生涯スポーツを楽しむ機会の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るとともに地域住民のスポーツを通じた健康づくり、体力づくりの場として提供していく。					
		主な業務内容	貸し施設				
		主な利用者	一般市民、スポーツ団体等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は継続している。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域人口の減少及び高齢化により、利用者の減少が予想される。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設から30年以上が経過しており、修繕を要する箇所が発生してきている。早期対応で修繕箇所の拡大を防ぐ必要がある。					
	対応策	施設定期点検における指摘箇所の早期対応。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	協働センターの付帯施設である。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,238	983	1,005	1人当たりのコスト(円)	885	848	1,177
	施設利用率(%)	1.0	1.9	1.5	1開館日当たりのコスト(円)	3,281	2,607	2,874
	1日当たり利用者(人)	4	3	2	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p> <p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努め、更新時には利用状況を踏まえ、他施設との統廃合や複合化を検討する。							

リストNo	03-106	施設コード	05258	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	市民音楽ホール			
所在(町名・番地)	北区新都田三丁目2-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男	
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市市民音楽ホール条例			
設置目的	市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図るため(浜松市市民音楽ホール条例第1条)			
主な利用者	市民(個人/文化団体)、学校団体他			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/06/01 ~			
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	5,981.26	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄骨造		土地面積
	地上階数(主要建物)	5		うち所有面積
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		29,967.62
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積
	建築年月日(主要建物)	2021/3/22		0.00
	経過年数(主要建物)	2		代表地目(現況地目)
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	4,500,000	2,138,277	6,638,277	
財源	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	2,182,227	—	
	市債	1,870,000	—	
	一般財源	447,773	2,138,277	
特記事項	・令和3年6月1日開設 ・令和3年7月1日一般供用開始			



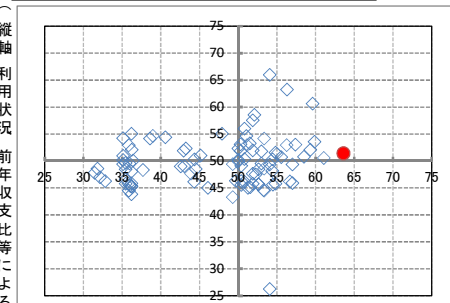
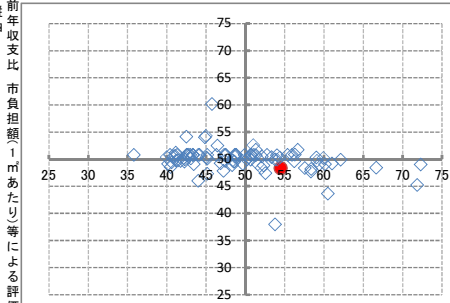
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	35,577	18,866	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,261	3,864	0
	収入計(A)	39,838	22,730	0
支出(千円)	人件費	34,024	27,520	0
	物件費(委託料)	48,298	42,912	0
	維持補修費(修繕費)	450	301	0
	物件費(光熱水費)	19,010	13,231	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	101,782	83,964	0
行政コスト(B-A)		61,944	61,234	0
収支前年比		101.16	—	—
(参考)指定管理料		95,100	82,500	0
(参考)減価償却費		75,428	75,428	75,428
利用状況	利用コマ数/年	5,932	3,163	—
	利用可能コマ数/年	13,339	9,397	—
	施設利用者数/年	119,412	45,390	—
	開館日数/年	345	289	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,731,101	2,363,412	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
01-031	新都田市民サービスセンター	生活	0.2	
06-018	都田図書館	地域	0.5	
15-072	都田南小学校	生活	0.6	
07-051	ひばり放課後児童会	生活	0.7	
26-034	都田中継ポンプ場	—	0.7	
17-007	都田総合公園	地域	0.7	
14-066	浜松第31分団	コミュニティ	2.0	



基本情報	リストNo	03-106	施設コード	05258	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	
	施設名	市民音楽ホール		施設	市民部創造都市・文化振興課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図るため(浜松市市民音楽ホール条例第1条)						
		主な業務内容	貸館業務、施設を活用した事業の実施					
		主な利用者	市民(個人/文化団体)、学校団体他					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 文化事業の拠点施設として、今後もニーズはある。							
	特記事項 —							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		浜松ジュニアプラス育成事業「定期演奏会」	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	126	
			2020	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	458	
事業②		マジックハートコンサート(隔月)	2022	—	—	—	310	
			2021	—	—	—	195	
事業③		常葉大学連携事業(ワークショップ、市民講座等)(月1回程度)	2022	—	—	—	160	
	2021		—	—	—	170		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	令和3年6月に開館したが、入館者に安全・快適に利用してもらえるよう今後も施設を適切に維持管理していく。						
	対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	令和3年6月より指定管理者制度による管理を実施。今後も事業の企画・運営などにおいて、一層の民間活力の活用を図る。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,356	10,238	0	1人当たりのコスト(円)	519	1,349	—
	施設利用率(%)	44.5	33.7	—	1開館日当たりのコスト(円)	179,548	211,882	—
	1日当たり利用者(人)	346	157	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 前年収支比率等による評価</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 利用状況等による評価</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>							
	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								